

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年3月29日（火）

2 確認箇所

Dタンクエリア

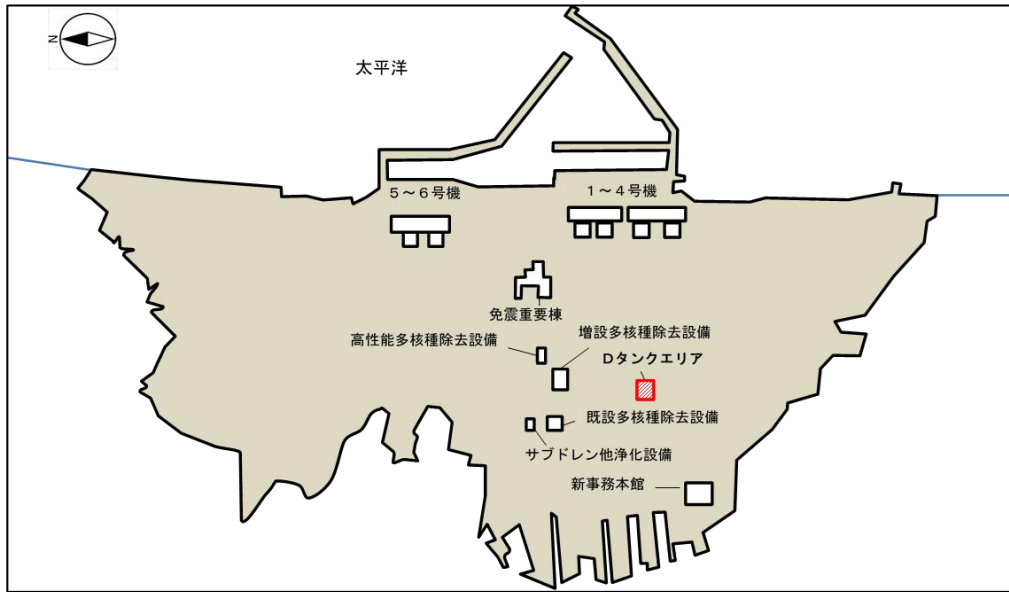
3 確認項目

地震発生後のDタンクエリアの状況

4 確認結果の概要

3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震（マグニチュード7.3、立地町震度6弱）により複数のタンクエリアでタンクの位置ずれ等が発生したことが確認されている。本日（3月29日）は、そのうちの一つであるDタンクエリアの状況を確認した。（図1）（写真1）

- ・複数のタンクに被覆膜の剥がれがあることや堰床面の被覆膜に捲れた箇所があることを確認した。（写真2）
- ・2箇所のタンク連結管に変位があることを確認したが、いずれの連結管も漏えいは認められなかった。（写真3）
- ・確認した範囲では、その他の連結管に大きな変位は認められなかった。
（写真4）
- ・一部の受入配管に歪があり、作業員が保温材や板金を取り外して点検を行っていた。受入配管からの漏えいは認められなかった。（写真5）
- ・一部の雨樋や雨水排水管の破損を確認した。（写真6）
- ・東京電力によると、3月16日に発生した地震により、19箇所のタンクエリアで160基のタンクの位置ずれが確認され、4箇所のタンクエリアでメーカー推奨変位値（偏心：150mm 伸縮：±50mm）を超過する連結管の変位が確認されている。このうちDタンクエリアでは全41基中8基のタンクの位置ずれと全14箇所中2箇所の連結管の変位が確認されており、今後、詳細な調査を行っていくとのことである。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
Dタンクエリア概観①
(北東側から撮影)



(写真1-2)
Dタンクエリアの概観②
(南側から撮影)



(写真 2 - 1)
タンク被覆膜の剥がれの例



(写真 2 - 2)
堰床面被覆膜の捲れの例



(写真 3 - 1)
連結管の変位の例①
(保温材を取り外していない連結管)



(写真 3 - 2)
連結管の変位の例②
(保温材を取り外した連結管)



(写真 4)
大きな変位がない連結管の例



(写真5-1)
作業員による点検作業の状況



(写真5-2)
保温材を取り外した後の受入配管の
状況



(写真6-1)
雨樋の破損の状況



(写真6-2)
雨水排水管の破損の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。